とねしょうかわらばん

6月　10日版

林間学舎行ってきました！（5年生）･･･1日目

６月７日、８日の２日間、５年生は滋賀県の近江八幡休暇村へ林間学舎に行ってきました。２日間お天気にも恵まれ、予定通りのプログラムを行うことができました。

７時３０分に出発式を行い、お家の方や教職員に見送られながら出発しました。大きな荷物が重そうでしたが、足どりは軽やかです。

１０時過ぎに休暇村に到着し、湖畔の芝生広場で入舎式です。目の前に広がる琵琶湖の青と山の緑、「きれい！」と声があがっていました。

最初の活動は**ウォークラリー**です。班ごとに、地図を受け取り、問題の書かれた看板を探して解いて行きます。指示された４０分ぴったりで帰ってくることも重要です。

班の中では、「番号順にまわりたい。」「近くからまわりたい。」と意見が分かれたり、「先に行って見てくるから。」と言ってはぐれたりするなど問題発生もしていましたが、なんとか協力しながらゴールできていました。

その後は、昼食です。お家の方に朝早くから作っていただいたお弁当の時間です。琵琶湖を見ながら、ゆっくりいただきました。

午後の活動は**いかだ体験**です。ヘルメットと救命胴衣をつけて、いかだ作りから始めます。木で組んだすのこ状の部分と大きなフロートをベルトで結びます。各クラスにインストラクターの方がついて行いました。

本来の予定は、出来上がったいかだでレースでしたが、風と波のためレースは中止にし、いかだをゆっくりと漕いでみるという体験になりました。乗るときは、湖に浮かべた状態でお尻から乗ります。うまくいかない子もいましたが、友達が支えたり、押さえたり、自然と助け合う姿が見られました。前に進んだり、後ろに下がったり、ブレーキをかけたり、漕ぐためのパドルをみんなで息を合わせて使いながら楽しみました。

インストラクターの方からは、「この日の環境条件の中で安全に出来ることを考えました。皆さんも危険が伴う時はやめる勇気も必要です。」というお話もありました。この日の天候や湖の様子を見て、最善の方法をとっていただきました。

いかだ体験の後は、お風呂です。広い湯船でしっかり温まり、さっぱりした様子でした。

夕食は、写真のようなメニューです。近江牛ステーキや近江牛コロッケ等ご当地メニューもあり、みんな堪能していました。サラダやステーキの付け合わせの野菜をたくさん残していたのは少し気になりましたが…。

食事の時間は宿泊学習の醍醐味ですが、一方向を向いての黙食、残念ですね。

食堂の窓からも琵琶湖がきれいに見ることができました。素敵な景色をながめながらの食事でさらに食欲がわくようでした。ご飯５杯もおかわりしたという子もいました。

夕食後は、**キャンプファイヤー**です。実行委員や各クラスからの出し物（ゲーム、劇、歌等）は、火を囲んでハイテンションな感じに大変盛り上がっていました。司会の実行委員のみんなが大きな声で進めてくれたのも良かったです。どんどん時間が経つにつれ、夜空の星も数が増え、くっきりと見られるようになりました。

キャンプファイヤーの後は、就寝です。

保健係や室長は集まって、ミィーティングです。各部屋で次の日への連絡事項を伝えるための確認です。責任を持って、自分の仕事を頑張ろうとする子どもたちがたくさんいました。

夜は一日の疲れがどっとでて、ぐっすり眠ったはずですが…。また、お家でもお部屋での様子など聞いてみてください。

次回のかわらばんで２日目の様子をお伝えします。